

事業の概況

テレビ東京はスポット収入が回復基調。BSジャパンは媒体力が引き続き向上。放送周辺事業は好調を維持。インターネット・モバイル事業は新規事業を開拓。

事業セグメントと連結子会社

地上波放送事業

- 株式会社テレビ東京

放送周辺事業

- 株式会社テレビ東京ミュージック
- 株式会社テレビ東京メディアネット
- 株式会社テレビ東京コマーシャル
- 株式会社テレビ東京アート
- 株式会社テレビ東京システム
- 株式会社テレビ東京制作
- 株式会社テレビ東京ダイレクト
- 株式会社テレビ東京ヒューマン
- 株式会社テクノマックス
- 株式会社テレビ東京建物
- 株式会社エー・ティー・エックス(AT-X)
- TV TOKYO AMERICA, INC.
- エフエムインターウェブ株式会社(InterFM)

BS放送事業

- 株式会社BSジャパン

インターネット・モバイル事業

- テレビ東京ブロードバンド株式会社

売上比率とその内容

地上波放送事業

売上比率 **68.0%**※ 売上高 **912億4千9百万円**
営業損失 **12億2千万円**

- 放送収入(タイム・スポット) ●番組販売収入
- ソフトライツ収入 ●イベント収入

放送周辺事業

売上比率 **24.6%**※ 売上高 **329億2千8百万円**
営業利益 **23億5千2百万円**

- 放送事業に関連する事業による収入

BS放送事業

売上比率 **5.9%**※ 売上高 **79億1千5百万円**
営業利益 **13億9千8百万円**

- 放送収入 ●番組販売収入 ●その他周辺権利を利用した事業による収入

インターネット・モバイル事業

売上比率 **1.5%**※ 売上高 **20億3千3百万円**
営業利益 **1億1千8百万円**

- インターネット・モバイル向けコンテンツ配信・提供による収入

各事業セグメントの概況

地上波放送事業

放送収入のうちタイム収入は、年度を通してレギュラー番組の売上が減少し、489億4千2百万円となりました。スポット収入も震災の影響を受けましたが、次第に市況が回復し、様々な企画セールスも寄与した結果、229億6千1百万円となりました。

番組販売収入は、「開運!なんでも鑑定団」の再放送休止等があったものの、「ありえへん∞世界」等の既存番組や、「仰天クイズ! @ルールSHOW」等、4月からの新番組が好調



勇者ヨシヒコと魔王の城

©「勇者ヨシヒコと魔王の城」製作委員会

モテキ



© 2011 映画「モテキ」製作委員会



NARUTO -ナルト- 疾風伝

©岸本斉史 スコッド / 集英社・テレビ東京・びえろ

\ Check! /

決算説明会の状況(動画)、
資料は当社IRサイトをご覧ください。

TXHD 決算説明会

検索

<http://www.txhd.co.jp/ir/library/presentation/>

に推移し、47億3千1百万円となりました。

ソフトライツ収入のうち、一般番組では、「勇者ヨシヒコと魔王の城」「マジすか学園2」「URAKARA」等のDVD販売が好調でした。また、劇場公開された映画「モテキ」は、興行収入22億円を超える大ヒットとなりました。IT関連でも、「虎ノ門市場」等の収入が順調に推移しました。一方、アニメ事業では、「NARUTO」を中心とした海外販売は堅調でしたが、国内市場の冷え込み等が影響し、全体としてソフトライツ収入は、115億4千5百万円となりました。

イベント収入は、「スターズ・オン・アイス ジャパンツアー2012」等のスケートイベントが好調で、16億5千3百万円となりました。

Keyword 用語解説

タイム収入 タイムCM(原則30秒)による収入。特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。

スポット収入 スポットCM(原則15秒)による収入。番組と番組の間に放送するCMのことです。

番組販売収入 番組を他の放送局に販売することで得られる収入。系列局以外にも販売しており、系列ネットワークがカ

バーする地域外でもテレビ東京の番組は視聴されています。

ソフトライツ収入 放送番組のビデオ化や海外販売、出版化、ゲーム化等、放送番組の周辺権利を利用して収益を上げる事業や、IT関連、アニメ、映画関連事業が含まれます。

イベント収入 スポーツ競技や文化イベントの主催等により収益を上げる事業です。

放送周辺事業

通信販売関連は、テレビ東京ダイレクトがテレビ東京と共同制作して10月からスタートした「7スタLIVE」の通販売上が好調で、従来放送している「ものスタMOVE」とともに売上をけん引し、テレビ東京ダイレクトの売上高は79億3千5百万円となりました。

CS放送関連では、アニメ専門チャンネル「AT-X」の会員数が12月末時点で15万人を突破。アニメ「メタルファイト ベイブレード」「ジュエルペット」の関連商品のライツ売上も好調で、エー・ティー・エックスの売上高は46億3千2百万円、昨年に引き続き過去最高を更新しました。

音楽出版関連では、テレビ東京ミュージックが、「新世紀エヴァンゲリオン」「創聖のアクエリオン」をはじめとするアニメ楽曲のゲーム等への使用が堅調で、売上高は36億7千7百万円となりました。



7スタLIVE

BS放送事業

放送収入は、通販番組を含むレギュラー番組をはじめ、タイム収入、スポット収入ともに堅調でした。一方、費用面では、番組の充実化に向けて10月から「暮らしに役立つ!家電の学校」「Music Travel」等のレギュラー番組を開始し、番組制作費が増加しました。



暮らしに役立つ!
家電の学校

インターネット・モバイル事業

既存のフィーチャーフォン向け有料会員数の減少が続く一方、端末メーカー等にコンテンツ提供を行うBtoB事業や、Web制作・運用等の受託事業の売上が好調でした。また、スマートフォン向けのアプリケーション開発等を拡充したほか、市場が拡大するソーシャルメディアに対してもコンテンツ展開を行う等、新規事業を開拓しました。



スマートフォン向けアプリ
「モヤモヤさまぁ〜ず2
とれ高サイコロ」